



コロナ危機乗り越えて 新しい日本を

日本共産党とはどんな政党か、コロナ問題でどんな役割を果たしているのか、紹介します。

困ったときは共産党

「#困ったときは共産党に相談しよう」。こんなツイートが広がっています。共産党は、草の根で地方議員、党員、党支部が地域の困り事の相談、解決へ力を尽くしています。

「自粛と一体に補償を」などを政府に提起。一律10万円支給をはじめ、医療・検査体制の拡充、家賃支援、雇用調整助成金の引き上げなどが実現しました。

異常なゆがみ ただす党

財界中心

「構造改革」の名で公立病院の統廃合、保健所の削減が続きました。コロナ危機の中で、市場原理と大企業のもうけ優先の新自由主義を問う声が広がっています。財界中心のゆがみをただし、暮らしと福祉に手厚い国づくりが必要です。

米国いなり

韓国では米国からの武器購入を先送りし、コロナ対策財源に充てました。日本もトランプ言いなりの兵器爆買いをやめるべきです。

共産党は「日米同盟絶対」の根本にある安保条約を廃棄し、対等・平等の日米関係をと訴えています。

国民の苦難あるところ…

「国民の苦難あるところ日本共産党あり」は立党の精神です。1995年の阪神・淡路大震災。共産党は直後から救援活動を開始、国会でいち早く被災者への個人補償を求めました。作家の小田実さんなど市民との共同で政治を動かし、被災者生活再建支援法が実現しました。



座り込みで抗議する人たちと、それを排除する機動隊。2019年2月25日、沖縄県名護市辺野古の米軍キャンプ・シユワフ前（日本共産党ホームページより）

「かつてよりよい状態に」グテーレス 国連事務総長

国連のグテーレス事務総長は「コロナ後」の世界について『原状回復』だけでは足りない。かつてより良い状態に復帰することです」と訴えています。

世界の主流にそった外交

新型コロナの世界的大流行のもと、収束へ国際社会が協力することが求められています。

アメリカであれ、中国であれ、どんな国の覇権主義にも反対し、平和の国際秩序をきずくという日本共産党の立場が、危機を乗り越えるうえで大切になっています。

思想・信条の違い超え

共産党は、思想・信条の違いをこえ、当面する改革に賛成する、すべての人々が力をあわせて社会を変えるという立場です。

2015年の安保法制反対のたたかいから始まった野党共闘。困難を乗り越え、自公政権に代わる新しい政治を担う野党連合政権をめざす共闘へ発展させようと力を尽くしています。コロナ危機のもと、格差を広げ、福祉を切り捨ててきた「新自由主義」政策の転換など、野党間の政策的一致が広がっています。

共同の力で変革すすめる